

キルギス共和国概況 日キルギス関係編

在キルギス日本国大使館
2025年9月

目次

4 日キルギス関係

- 4－1 対日関係
- 4－2 通商関係
- 4－3 経済協力実績

4 日キルギス関係

4-1 対日関係：二国間交流の歴史

明治期から旧ソ連時代にかけての 日本と中央アジア・キルギス

1880年頃

外交官・西徳二郎、駐ロシア臨時代理公使からの帰朝途上にて中央アジアを視察。報告書にて西は、「中央アジアのムスリムは信仰篤い一方、何事もアッラーの意思にゆだねるため主体的な改革がままならない」と指摘。

1895～
97年頃

福島安正・陸軍大佐、ベルリン駐劄からの帰途、ロシア領コーカサス及び中央アジアを視察。帝政ロシアによる中央アジアでの鉄道建設状況や民族問題について報告。

第二次世界
大戦後

キルギスのイシク・クリ湖南岸のタムガ村に125人の日本人が抑留され、サナトリウム建設等に従事。抑留者はその後全員生還したと言われている。

1960年代

作家・井上靖が中央アジアを旅行。イシク・クリ湖の視察を希望するも軍事施設があることから許可が下りず断念。

1980年代

NHK特集「シルクロード」放映。日本でのシルクロードブームの火付け役となる。キルギスではイシク・クリ湖が取り上げられる（「湖底に消えた道 ～幻のイシク・クリ湖に潜る～」1983年11月7日放映）。

二国間交流の開始： 関係構築へ向けた基盤作り

1991年

ソ連崩壊。同年12月、日本はキルギスを国家承認。

1992年

外交関係樹立、在キルギス大使館開設（在ロシア大使館が兼轄、1996年から在カザフスタン大使館が兼轄）。

1995年

キルギス日本人材開発センター開設。

1996年

最初の有償資金協力となる「ビシュケク・オシュ道路改修事業」の交換公文締結。

1999年

8月、南部オシュ州にて邦人誘拐事件発生。ウズベキスタン・イスラーム運動(IMU)が、JICAの地質専門家4名を3名のキルギス人通訳及び兵士とともに誘拐。10月に解放。

2000年

JICA事務所開設。青年海外協力隊派遣開始。2025年9月時点で、シニアボランティアを含めると累計340人を派遣。

2003年

日本大使館（兼勤駐在官事務所）開設。

2004年

駐日キルギス大使館開設。

2010年

日本大使館が実館となる。

4-1 対日関係:要人往来

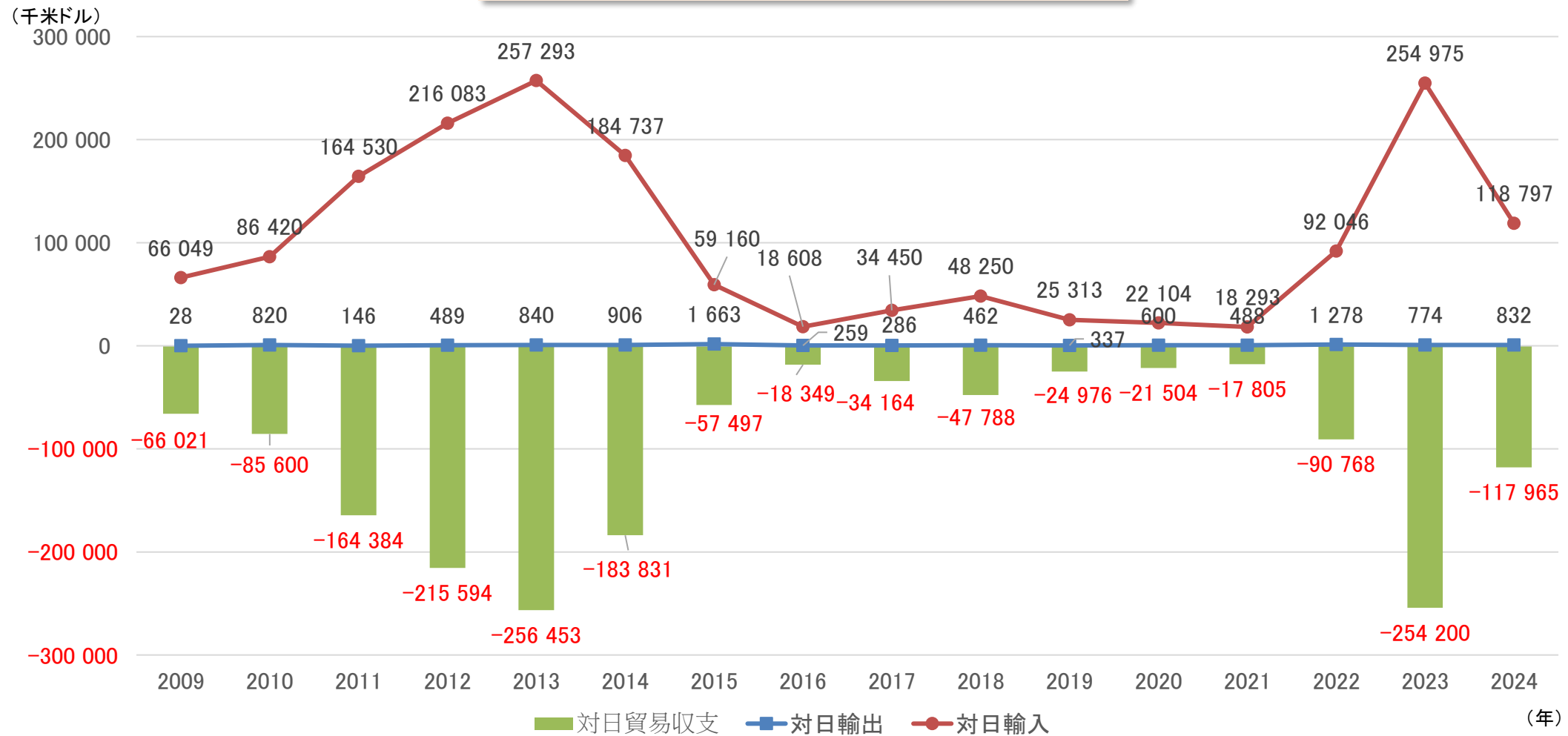
ハイレベルでの交流:要人往来及び外交行事

1993年	アカエフ大統領訪日(公式訪問)	2019年	ジェエンベコフ大統領訪日(即位の礼)
1998年	アカエフ大統領訪日(非公式)	2022年	アキルベク・ジャパロフ内閣議長兼大統領府長官訪日(中央アジア投資フォーラム)
2002年	川口順子外務大臣の主導で「中央アジア＋日本」対話立ち上げ。 翌2003年に第1回高級実務者会合がウズベキスタン・タシケントで実施。 翌々2004年に第1回東京対話が東京・外務省で実施。	2022年	クルバエフ外務大臣訪日(「中央アジア＋日本」対話・第9回外相会合)
2004年	アカエフ大統領訪日(実務訪問賓客)	2023年	遠藤利明衆議院議員(日キルギス友好議員連盟副会長)、キルギス訪問
2007年	バキエフ大統領訪日(実務訪問賓客)	2023年	ジャパロフ大統領訪日(公式実務訪問賓客)
2013年	アタムバエフ大統領訪日(実務訪問賓客)	2024年	辻清人外務副大臣、キルギス訪問
2014年	キルギスにて「中央アジア＋日本」対話・第5回外相会合開催。岸田文雄外務大臣、キルギス訪問	2025年	長島昭久総理大臣補佐官、キルギス訪問
2015年	安倍晋三総理大臣、モンゴル及び中央アジア5か国を訪問	2025年	鈴木馨祐法務大臣、キルギス訪問
		2025年	バイサロフ内閣副議長訪日(大阪・関西万博キルギス・ナショナルデー)

肩書きはいずれも当時。出典:外務省HP

4-2 通商関係：貿易（輸出入額、貿易赤字額の推移）

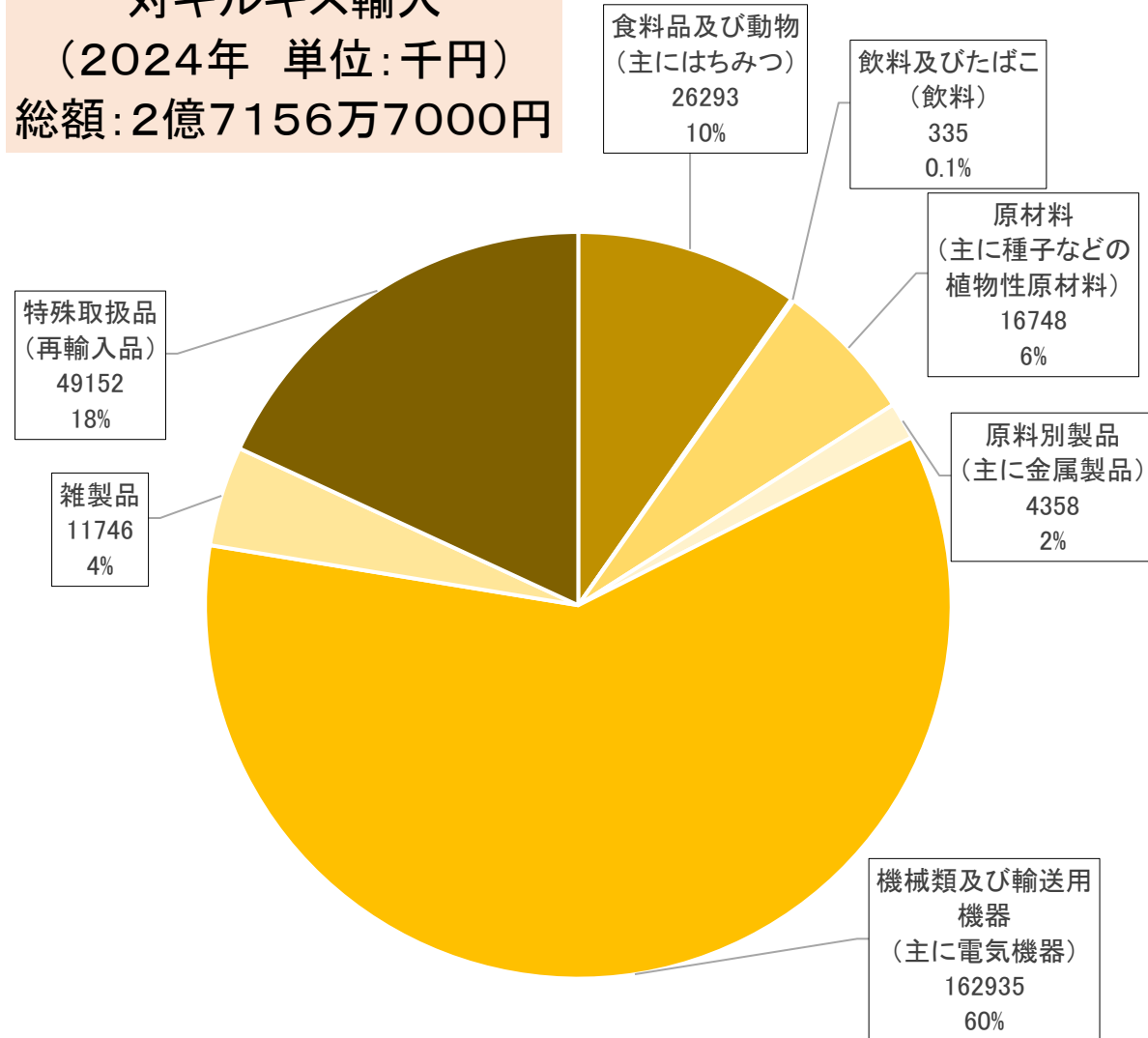
日・キルギス貿易の総額及び収支の推移



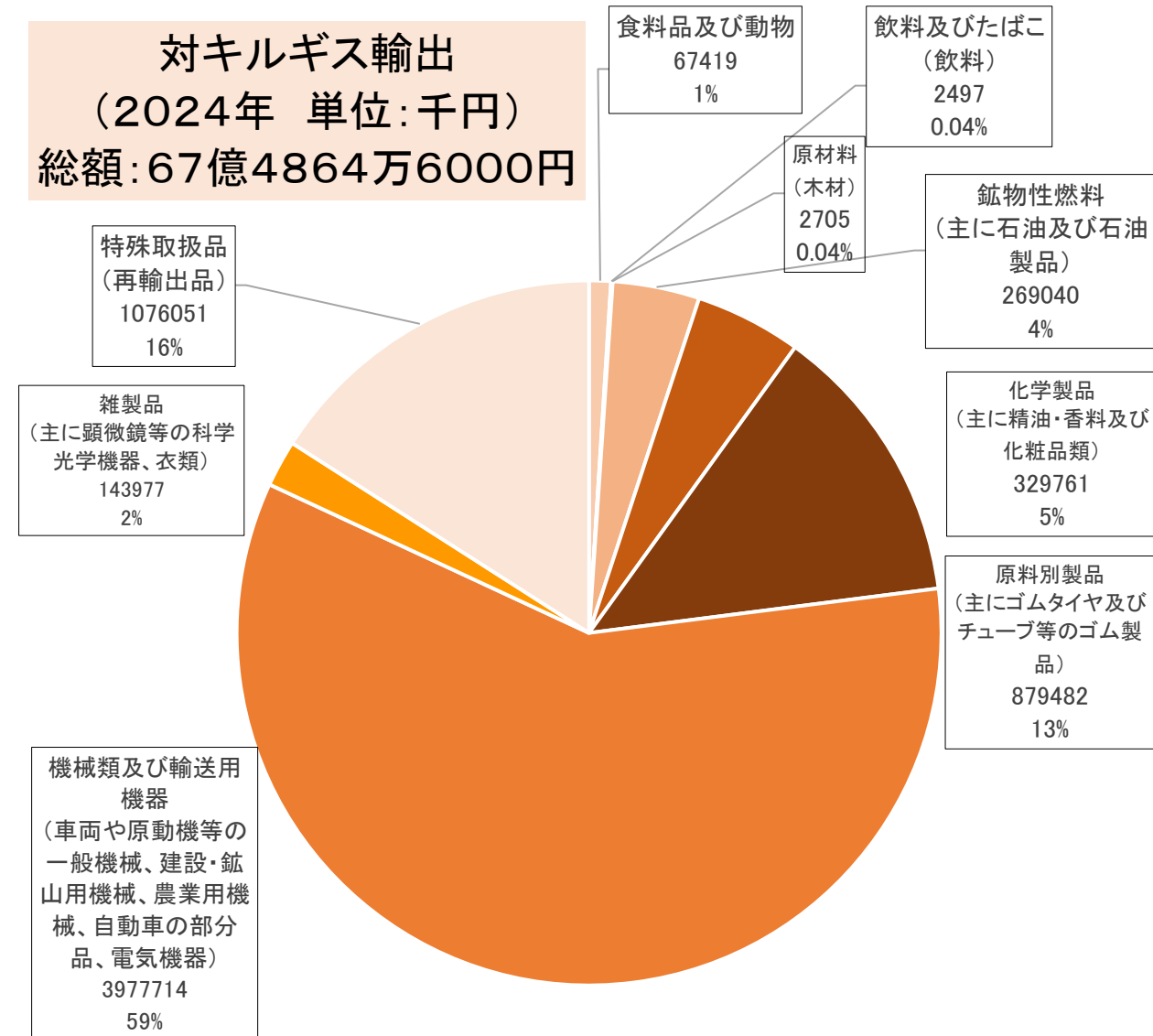
※2015年より、日本からの輸入の約8割を占めていた右ハンドル中古車の輸入が禁止されたことにより、日本車の輸入総額が激減した。

4-2 通商関係(貿易:輸出・輸入品目別金額／シェア)

対キルギス輸入
(2024年 単位:千円)
総額:2億7156万7000円



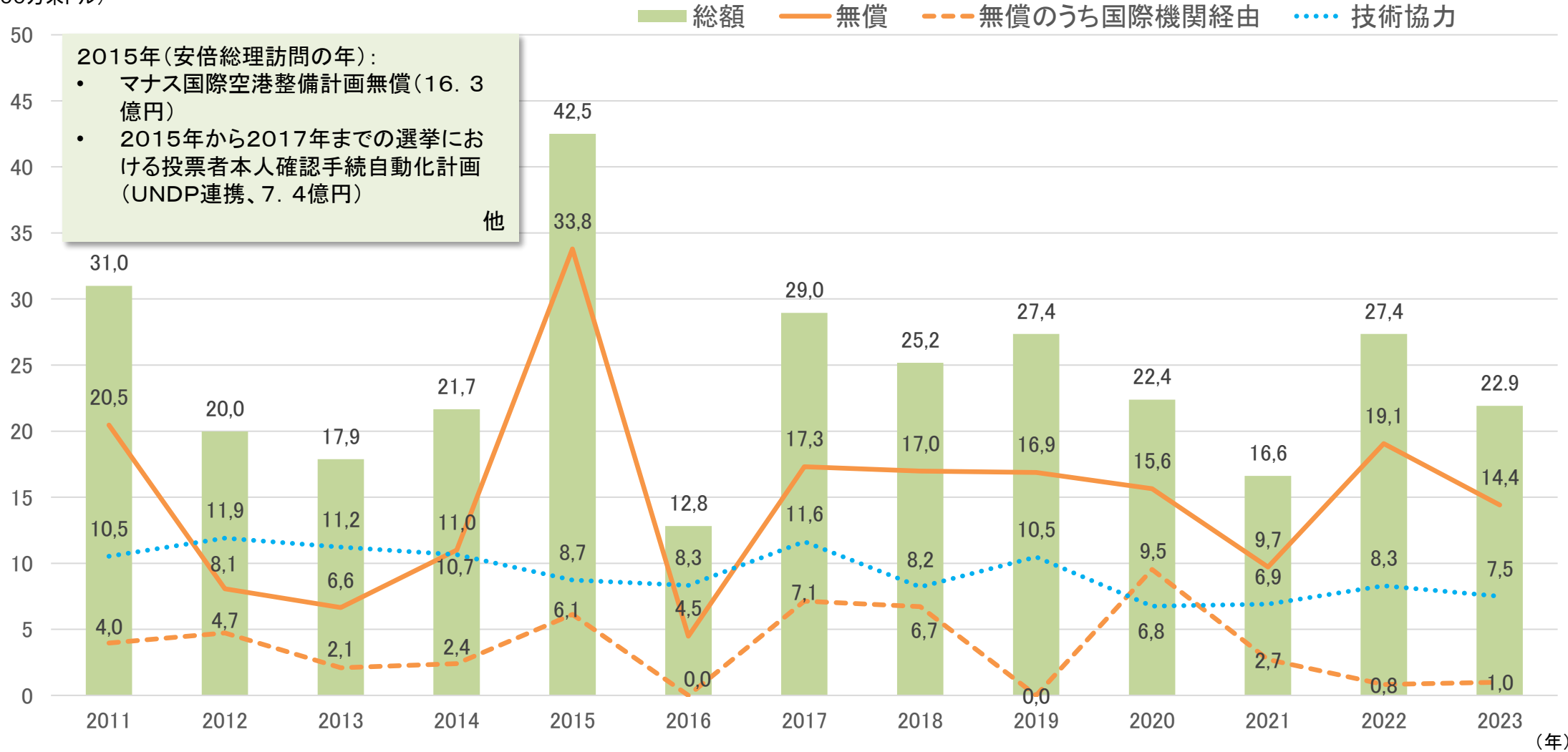
対キルギス輸出
(2024年 単位:千円)
総額:67億4864万6000円



4-3 経済協力実績：援助金額の実績

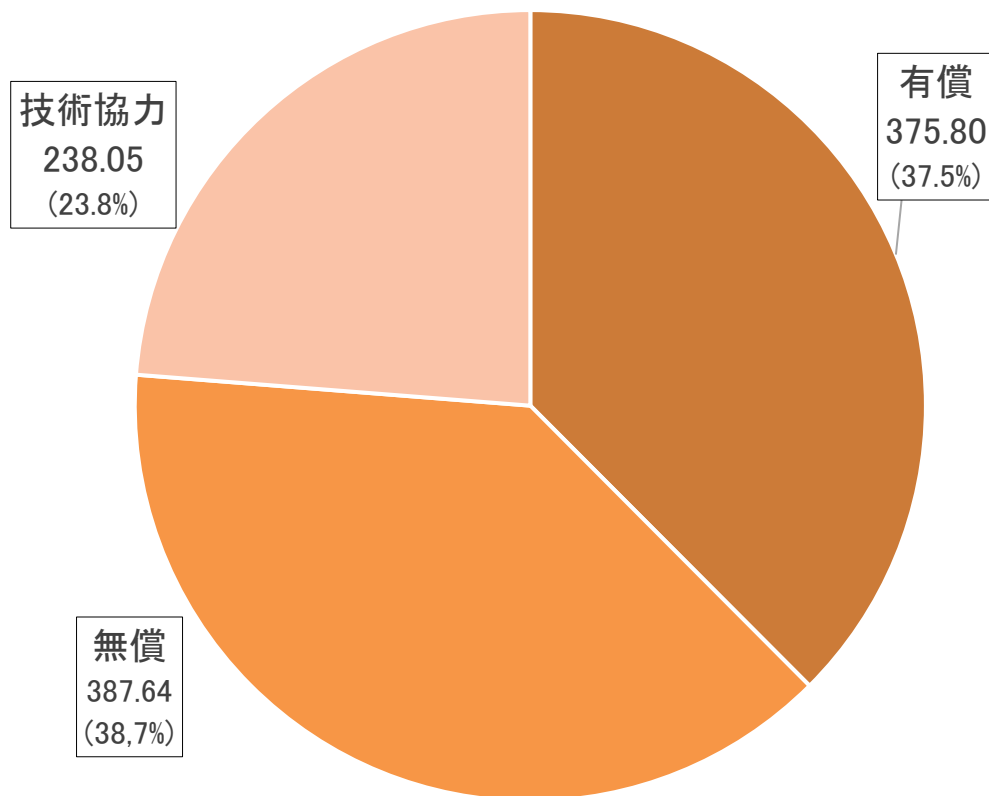
我が国による対キルギスODAの推移(支出総額ベース)

(100万米ドル)

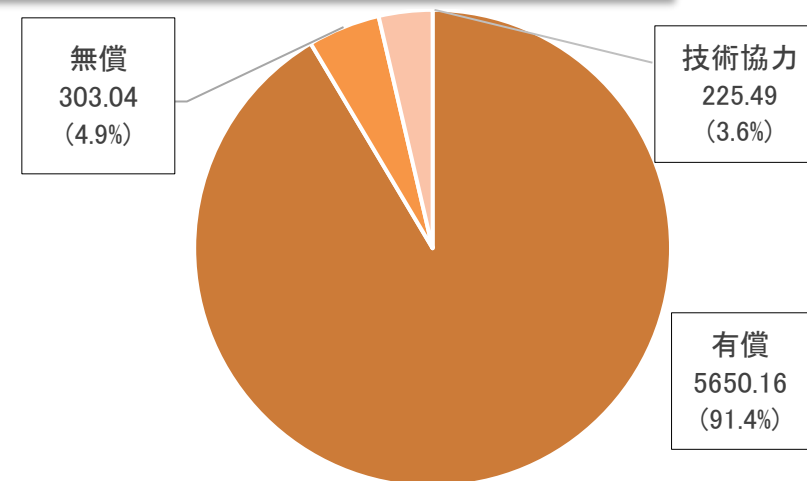


4-3 経済協力実績：援助金額の内訳

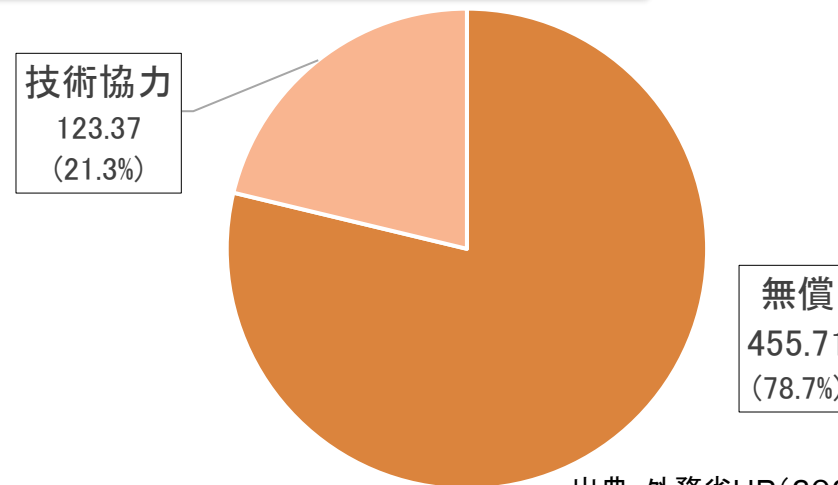
我が国による対キルギスODAの内訳
(2023年までの累計(実績額)、単位：億円)



参考：対ウズベキスタンODAの内訳
(同)

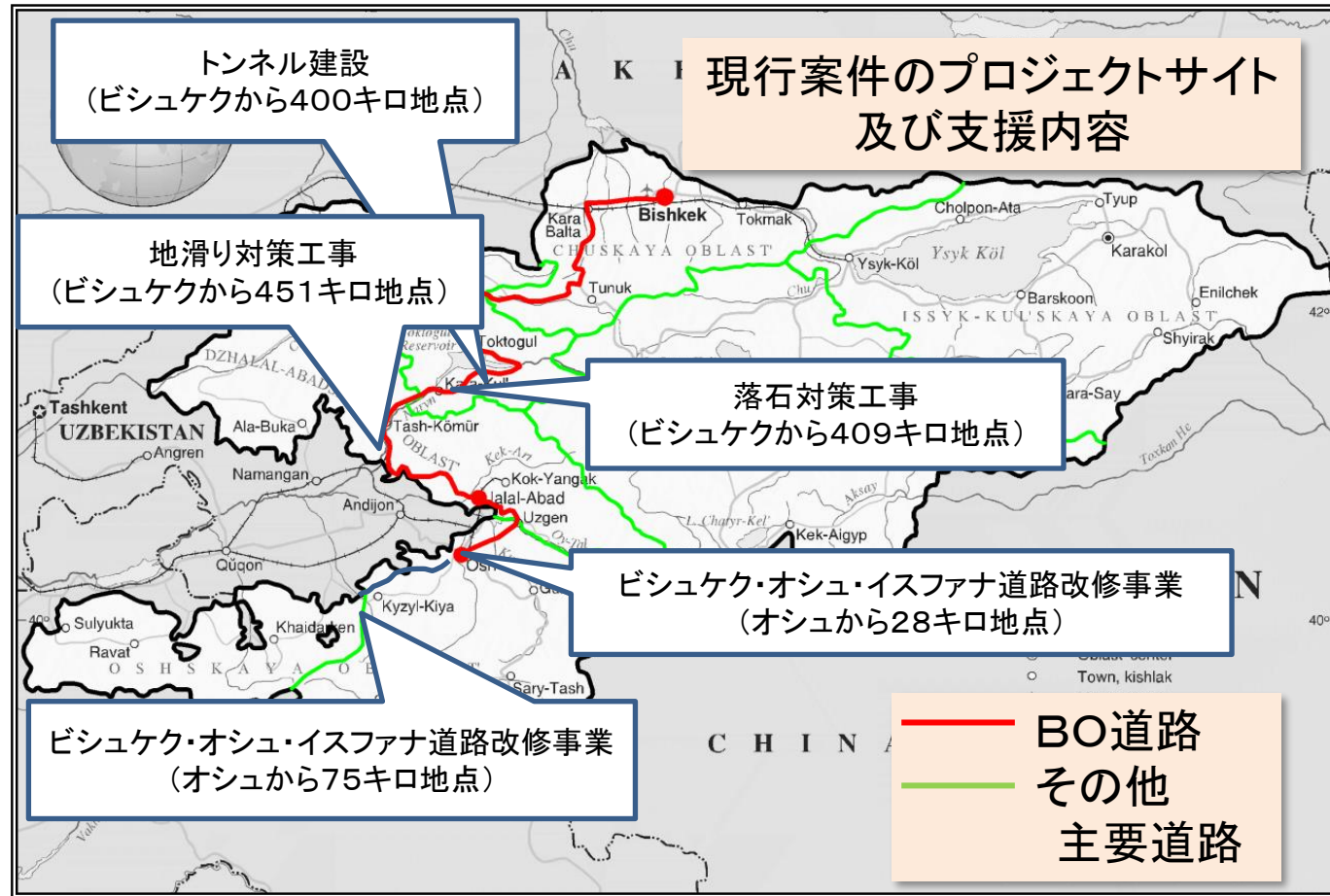


参考：対タジキスタンODAの内訳
(同)



4-3 経済協力実績:円借款

ビシュケク・オシュ道路改修事業



- ビシュケク・オシュ道路(BO道路)は首都ビシュケクと南部の中核都市オシュを結ぶ、キルギスの大動脈であるが、山岳地帯を通過し災害が多いことに加え、老朽化も問題であった。
- これまで我が国は3次にわたる有償案件の実施を通して、BO道路及びその延長区間の補修並びに維持管理を支援、キルギス国内の均衡ある経済発展に貢献してきた。

案件名	予算規模	交換公文署名
ビシュケク・オシュ道路改修事業(1)	30.16億円	1997年
ビシュケク・オシュ道路改修事業(2)	52.50億円	1998年
国際幹線道路改修計画(現行案件)	119.15億円	2015年

- 2025年6月、ビシュケクから400キロ地点(ジャララバード州カラクリ市)におけるトンネル工事の起工式が行われた。

4-3 経済協力実績:技術協力(JICA「一村一品」事業)

キルギス農村部の 社会経済課題

- ソ連崩壊後の経済の低迷、産業の不在、限定的な雇用機会
- 労働人口の大量出稼ぎによる村落のコミュニティ崩壊
- 脆弱な立場に置かれる女性

本事業のアプローチ

- コミュニティを中心として主に女性から成る生産者組合の編成を支援。運営、参加にあたっては自助努力、自発的が原則。
- 地元素材を地元住民が生産する仕組み。地域の伝統や観光、文化を踏まえた「ストーリー」を意識した製品作り。
- 国内の販売拠点「一村一品ショップ」のみならず、国外へも輸出。日本企業では無印良品と契約。無印が仕様を発注し、JICAが開発・生産の指導を行う。



金属検知器を用いた検品指導



主力商品の一つ、フェルト製品

生産から品質管理、販売に至るまでの一貫した支援



キルギス人スタッフによる無印良品物流センターの見学

事業の成果

- ✓ 2007年事業開始。2010年から無印良品との契約開始。
- ✓ 2017年から、イシク・クリ州での取組をキルギス全土へ拡大するフェーズ3を開始。
- ✓ 地域活性化への成果が評価され、2022年12月にキルギスの国家プロジェクトとして採択。
- ✓ 2023年からはフェーズ4を開始し、隣国(カザフスタン・タジキスタン)にも展開。
- ✓ 現在、ショップで扱う商品数は2000を超える。